

東日本大震災の概要（岩手県岩泉町）

1 地震・津波の概要

項目	時刻	対応等
地震発生	平成23年3月11日 14時46分頃	震度：4 震央地名：三陸沖（北緯38.1度、東経142.9度） 震源の深さ：24km マグニチュード：9.0
大津波警報発令	平成23年3月11日 14時49分	災害対策本部設置（職員2号非常配備）
避難指示	平成23年3月11日 14時50分	防災行政無線により避難指示
津波発生	平成23年3月11日 15時28分頃	小本、中野、茂師、小成地区へ津波襲来
津波警報に切替	平成23年3月12日 20時20分	
津波注意報に切替	平成23年3月13日 7時30分	
津波注意報解除	平成23年3月13日 17時58分	同時刻で避難指示解除

2 死亡者数（7月20日現在）

区分	人数	性別		被災場所等
		男	女	
死亡	11	6	5	・町内（小本）4名 ・宮古市（田老）4名 ・石巻市 1名 ・田野畑村 1名 ・関連死 1名

3 避難者数（7月20日現在）

5月31日全ての避難所を閉鎖

区分	人数	避難場所	現在（6/1）	3/13	電話番号
避難者	0	岩泉町民会館	-	99	22-4545
		ふれんどりー岩泉	-	15	22-5100
		どんぐり苑	-	20	22-5632
		龍泉洞温泉ホテル	-	116	22-4141
		ふれあいらんど岩泉コテージ	-	-	22-5211
		小成コミュニティセンター	-	11	
		箱石イク宅付近	-	18	
		ホテル龍泉洞愛山	-	132	22-4111
		合計	0	411	

4 被害額（7月5日現在）

現在把握している被害額は、水産関係が27億1千万円、農業関係が3億4千万円、道路関係2億8千万円、学校・保育園・支所関係が4億8千万円、住宅関係が4億8千万円、その他1億2千万円。合計44億1千万円と推計。今後さらに増えると考え。

5 被害家屋数（7月20日現在）

被害程度	棟数	備考
全壊	177	流出 80、全壊 97
大規模半壊	10	
半壊	10	
一部損壊	5	
合計	202	

6 義援金等の配分・受付・交付状況（8月24日現在）（単位：円）

区分	内容	配分・受付額	交付状況	備考
国・県義援金	第1次配分金	98,500,000	98,500,000	
国・県義援金	第2次配分金	162,579,000	160,579,000	
	合計	261,079,000	261,079,000	
町災害義援金	個人 260件	7,935,977		
町災害義援金	団体 134件	27,567,890		
	合計	35,503,867	19,380,000	
町災害見舞金			10,340,000	
合計			290,799,000	

7 ライフラインの状況

電気（4月1日復旧）水道（3月29日復旧）電話（3月30日復旧）国・県・町道通行可、三陸鉄道（小本～野田間代替えバス運行）JR岩泉線（岩泉～宮古代替えバス運行）

8 仮設住宅入居の状況

3団地 143戸の仮設住宅への入居開始（8月24日現在）

- ・岩泉団地 39戸（20世帯 22戸 残 17戸 入居者数 47人）
- ・小本団地 84戸（78世帯 84戸 残 1戸 入居者数 215人）
- ・小成団地 20戸（16世帯 16戸 残 4戸 入居者数 35人）

9 町への寄附金の状況

寄附金（8月24日現在）

震災以降の寄附の状況は次のとおり。なお、寄附金は災害復興事業に活用。

- ・個人：28名 11,531,041円
- ・団体：70団体 53,666,074円
- 計 65,197,115円

10 関係機関等の活動内容

(1) 消防団

消防団が人命救助、宮古市田老地区火災応援、がれき除去等を実施
活動日数 14 日間 1,491 名 (3 月 11 日 ~ 25 日)

(2) 警察

岩泉警察署及び県外特別派遣部隊が人命救助、捜索、被災地警戒等を実施
県外特別派遣部隊 13 県から延べ 3,750 名 (3 月 12 日 ~ 7 月 27 日現在)

(3) 自衛隊

陸上自衛隊第 2 師団 (北海道) 360 名が、ふれあいらんど岩泉を拠点に、岩泉町、宮古市田老地区、田野畑村等で捜索救助、物資輸送及びガレキ除去等の活動を実施 (3 月 15 日 ~ 4 月 29 日) 現在は、本来の支援部隊である岩手駐屯地第 9 師団第 9 特科連隊に指揮が移り、避難状況確認や自衛隊協力ニーズ調査を実施 (週 1 回)

(4) 昭島市職員の派遣

国内交流で親交の深い昭島市職員が拾得物の整理、避難所の保安業務等に従事
活動日数 25 日間 100 名 3 月 27 日 ~ 4 月 27 日

(5) 県及び国の職員支援

- ・ 県 拾得物整理 1 週間 30 名
- ・ 国 (東北農政事務所) 救援物資の仕分け作業 1 週間 10 名
- ・ 国 (盛岡財務事務所) 避難所の保安業務 5 月 1 日 ~ 5 月 23 日 46 名

(6) ボランティア

岩泉町社会福祉協議会がボランティアの取りまとめを行い、延べ 2,096 人で支援物資の仕分け、がれき除去等の活動を実施 (3 月 12 日 ~ 7 月 20 日)

11 その他被災者対策等

(1) 東日本大震災犠牲者合同お別れ会

町民会館において、遺族など約 600 人が参列し、東日本大震災犠牲者 9 人の冥福を祈る合同お別れ会を実施 (4 月 10 日)

(2) 被災者と町長との意見交換会

小本地区の復興に係る被災者と町長との意見交換会を実施

- ・ 4 月 16 日 - 町民会館 約 160 人
- ・ 5 月 8 日 龍泉洞温泉ホテル 約 150 人

(3) 避難所内の環境改善

町民会館及び龍泉洞温泉ホテルにおいて、避難者のプライバシーを守るため大部屋に間仕切りを設置（設置期間：4月8日～5月19日）

(4) 炊き出し応援

岩泉町自主防災組織、婦人防火クラブ、漁協婦人部、(株)日本一、積丹町観光協会、青森県平内町、みらいカンパニー、日本たこ焼き等、薬膳レストラン「縁樹」、町民ボランティア他が炊き出しを実施

(5) 慰安音楽会ほか

- ・町民会館 不來方高校音楽部（4月6日）陸上自衛隊第9音楽隊（4月8日）南部牛追唄保存会（4月20日）平原綾香コンサート（6月23日）スローフード岩手・みやこ映画生協（6月25日）荒馬座公演（7月18日）チームリカバリー：プロレス公演（8月4日）
- ・温泉ホテル 仙台てっば会：落語とウクレレ演奏（4月23日）
- ・仮設住宅（小本団地集会所） 映画屋とその仲間たち（5月27日、7月22日）木村音楽事務所（6月11日）ひめしゃら塾・野口祥子：舞踏公演（7月17日）ヨーヨー教室（7月18日）
- ・小本駅前 宮古音響（7月31日）

(6) 各種相談会の開催

相談会名	町民会館	龍泉洞温泉ホテル	その他会場
司法書士相談会	4月7日	4月7日	
無料法律相談会	4月8、15、22日	4月8、15、22日	
年金相談会	4月20日	4月20日	
特別出張労働相談会		4月25日	
法務局、国税局、労働局、年金事務所、行政評価事務所相談会			5月26日
労働問題相談会			6月8日

上記期間以降については、岩手労働局、税務署などが随時相談会を実施

(7) 車両の寄贈

- ・昭島市医師会 三菱コルト プラス（1300cc）
- ・東京都医師会と昭島市医師会 三菱RV（1800cc）

(8) 台湾嘉義県議会ホームステイプログラム

日本に福来れ！台湾には愛がある

- ・実施期間：7月27日(水)～8月5日(金)
- ・対象者：岩泉町立小本中学校の全校生徒(38名)及び教職員
- ・目的：震災によって傷ついた子どもたちの心を少しでも癒すこと。
台湾と日本の次世代を担う子どもたちが国境を越えての草の根交流の実現

12 復興対策本部の設置

町の復興及び地域住民の生活再建を図るために、平成23年4月25日付で「岩泉町震災復興対策本部」を設置

- ・5月20日岩泉町議会全員協議会に「岩泉町震災復興計画(骨子案)」を提出
- ・8月中基本計画案、11月中策定を目指す

13 その他事項

(1) がれき処理

県では、宮古市燐港通の市魚市場脇のがれき約3万 m^3 (約2万1千t)を緊急措置として、当町小本港にある仮置き場へ移す。移転作業完了：7月

今後、がれきの分別作業を実施し最終処分となる。

輸送方法：トラック等輸送